

● 町民の広場

ふれあい

立小野校区公民分館女性部長

永吉 律子



今年は息子一家とにぎやかに新年を迎えることができました。神社参拝もし、おみくじは吉、大吉ではなかったけど、まあ良かったかな。神頼みばかりではなく、よい年になるよう努力していこう。

年明け早々、暗いニュースが報じられているようです。最近では親が子供を、子供が親を、兄が妹をと家庭内での悲惨な事件が相次いで起きています。

考えてみると、昔は二世帯、三世帯

で同じ屋根の下に暮らし、膝を突き合わせ話し合いながら生活し、みんなの事が分かっていたようです。最近では昔と違い、それぞれ個室を持ち、家族のみんなと顔を付き合わせることも少なく、対話する時間もなく孤独な生活をしているのがほとんどではないでしょうか。

また、兄弟も多く、5〜6人が普通だったと思います。それで上が下の弟・妹の面倒を見て自然と育児の知識を少しは持っていたと思います。それが最近では少子化により、弟・妹の面倒を見るどころか自分自身のこともできない育ち方をして、自分が親になった時、子育てに行き詰ったり、虐待したり、放棄したりとなるのではないのでしょうか。

このことは、社会でもいえることではないかと思えます。家に引きこもりにならず、仲間をたくさん作り、その中で対話し、笑いながら自分の生きがいを見つけることではないでしょうか。

そこで、私はいろいろなことにチャレンジすることにしています。

まず、女性講座に参加して、年間計画を立てた料理教室、カントリードール、史跡めぐり、移動研修、生け花、ちぎり絵、グラウンドゴルフと毎月1回の学習ですが、すごく楽しみです。学習することはもちろんですが、対話もできるし、皆さんの笑顔を見てエネルギーをたくさん貰えるためです。

生涯学習や趣味の同好会にも参加し、皆さんと対話し、笑いながら衰えがちな指先や頭を使い、創りだす喜びを感じています。また、校区や集落、小学校行事にもできる限り参加し、人との対話を大事にしていきたいと思えます。

もう一つの他の地区の方たちとの話の中で、グラウンドゴルフで楽しんでいらつしやるのを聞くところが嬉しいかなります。私達の校区にはグラウンドゴルフをするような広場がありません。あれば家に引きこもっている方達も集まって楽しく過ごすふれあいの場となると思うのですけれども夢でしょうか。

編集後記

謹賀新年、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様方には一家お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと思います。異常気象という言葉が使われており、暖冬を思わせる年末でしたが、年明け早々から西日本でも雪に見舞われ、寒さを感じる今日この頃であります。

去る11月に実施されました大崎町の市町村合併に関する住民アンケートの結果は、合併を望むが7861人(79.7%)で大勢を占めました。今、町長の姿勢は合併であり、議会としても住民の皆様への付託に答えるため、12月22日の最終本会議においては、「志布志市との合併を推進する決議」を可決したところであり、あわせて18年中は、予算で26件、条例・陳情その他で89件の審議を尽くしてきたところでもあります。「おおさき議会だより」102号を送ります。ご愛読ください。

年頭にあたり、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。

広報編集委員一同